



太陽光発電の今後について

経済産業省から断熱リノベでリチウムイオン電池・ヒートポンプ式給湯器の購入費に補助金ということは既にメルマガでもご説明させていただいておりますが、今回は太陽光発電が2019年問題について取り上げたいと思います。

2019年以降、住宅用太陽光発電装置の固定価格買い取り制度の対象（10年）が過ぎる装置（太陽光パネル）が増加します。

2019年問題とは・・・

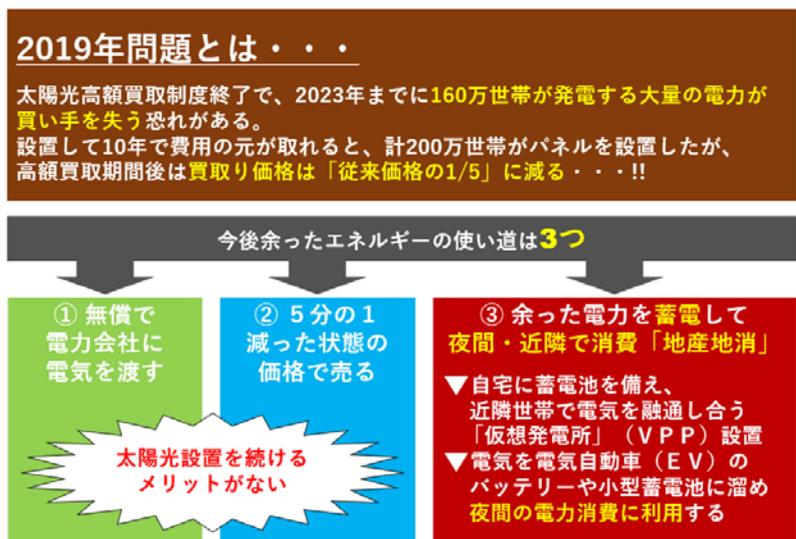
太陽光高額買取制度終了で、2023年までに160万世帯が発電する大量の電力が買い手を失う恐れがある。設置して10年で費用の元が取れるということで、計200万世帯が太陽光パネルを設置ですが、高額買取期間後の買取価格は「従来売電価格の1/5」に減るかもしれません・・・!!

この問題に対処すべく、まず環境省と経済産業省として2018年度予算の概算要求に84億円…約3万戸を補助することになっています。しかしすぐになくなってしまうと予想されており、また追加で補助されるのではないかという話も出てきているようです。

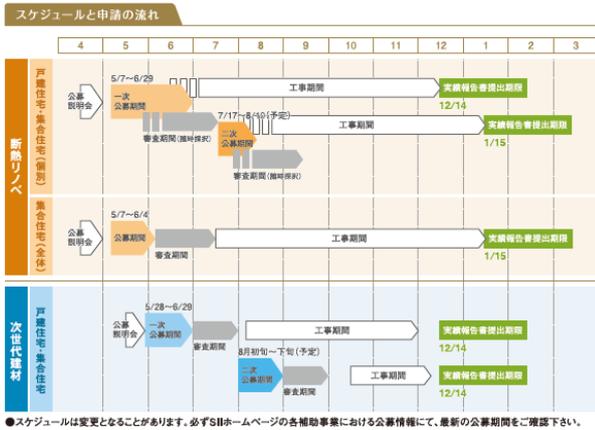
また、次世代建材についても支援メニューに追加が入っていますので、そちらも合わせてご確認ください。

今回は右図がポイントです
特に余った電力を蓄電して地産地消で使うことを促すことが最重要です。蓄電池のない家庭についてはこれらを提案していく

必要があります。新聞各紙でも寝耳に水だったという消費者の声も少なくないようです。そしてこれは2019年が始まりであり、これから継続的にこういった世帯が増えてくることも数字で予想されています。（太陽光発電設置件数に対して）
ストック産業では設備や建材・改修の市場が大きく動いていきます。



先に知っておくことで、今年から消費者に対して提案をして、対策を取っていただくことが必要かもしれません。



この事業に関する問い合わせは

<p>断熱リノベ</p> <p>https://sii.or.jp/moe_material30/</p> <p>詳しくは上記ホームページより「公募要領」「申請の手引き」をダウンロードし、ご確認ください。</p> <p>TEL 03-5565-4860</p> <p>【受付時間】平日 10:00~17:00</p>	<p>次世代建材</p> <p>https://sii.or.jp/medi_material30/</p> <p>詳しくは上記ホームページより「公募要領」「申請の手引き」をダウンロードし、ご確認ください。</p> <p>TEL 03-5565-3110</p> <p>【受付時間】平日 10:00~17:00</p>
--	--

補助金申請において、虚偽の申請・不正受給などの不正行為に対して、SIIは厳正に対処いたします。申請される皆さまは十分にご留意いただきますようお願いいたします。

問い合わせ先/申請書提出先

sii 環境共創イニシアチブ
Sustainable Open Innovation Initiative

一般社団法人 環境共創イニシアチブ 専攻第二グループ
〒104-0081 東京都中央区銀座2-16-7 16階3ビル
<https://sii.or.jp/>

平成30年度の住宅の省エネ・断熱リノベーションの支援補助金について

本補助金は、国の補助制度として、省エネ・省CO₂性能が高い建材を用いた断熱改修を支援します。

住まいの断熱改修をお考えの方へ

- 高効率な省エネ・省CO₂を実践したい
- 冷暖房が効きにくい気がする
- 住みながら短工期で改修したい
- 室内の湿気が気になる

こんなあなたは「断熱リノベ」
高性能建材による住宅の断熱リフォーム支援事業

こんなあなたは「次世代建材」
次世代省エネ建材支援事業

詳しい内容は中面をご確認ください

sii 環境共創イニシアチブ
Sustainable Open Innovation Initiative

平成30年度より新たに「次世代建材」が支援メニューとして追加されました

利用者の声

- 暖房器具の使用頻度が減りました。それにより光熱費が削減できました。
- 悩んでいた結露やカビがなくなり、快適に過ごせるようになりました。
- 二重サッシにすることにより、防音効果も上がりました。
- 補助金を利用することで、ワンランク上の改修を行うことができました。

※平成26年度 断熱住宅・建築物における高性能建材導入促進事業(補正予算に係るもの)を利用された方のご感想です。

	断熱リノベ	次世代建材
事業名	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)化等による住宅における低炭素化促進事業) 【高性能建材による住宅の断熱リフォーム支援事業】	省エネルギー投資促進に向けた支援補助金 (住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業) 【次世代省エネ建材支援事業】
住宅区分	戸建住宅 集合住宅 (個別) (全体)	戸建住宅 集合住宅
補助対象となる申請者	●個人の所有者又は、個人の所有予定者 ●賃貸住宅の所有者(個人・法人どちらでも可) ●管理組合の代表者 ●買取再販業者	●個人の所有者又は、個人の所有予定者 ●賃貸住宅の所有者(個人・法人どちらでも可)
事業内容	一定の省エネ効果(15%以上)が見込まれる、高性能建材(断熱材、ガラス、窓)を用いた住宅の断熱リフォーム事業	短工期で施工可能な高性能断熱パネルや潜熱蓄熱建材、調湿建材等の付加価値を有する省エネ建材を用いた住宅の断熱リフォーム事業
補助対象となる製品	断熱材、ガラス、窓、家庭用蓄電池、家庭用蓄熱設備 <small>家庭用蓄熱設備は、高性能蓄熱材での改修を行い、太陽光発電システム等(10kW未満)が設置され、2019年11月末までにFITの規制が終了する方が対象</small>	断熱パネル、潜熱蓄熱建材、玄関ドア、窓、ガラス、調湿建材 <small>(窓)は、断熱パネル又は潜熱蓄熱建材の改修に適用可能</small>
補助率	高性能建材:補助対象費用の1/3以内 ●家庭用蓄電池/設備費:3万円/ kWhまたは補助対象費用の1/3 いずれか低い方 工事費1/3以内または5万円/台 いずれか低い方 ●家庭用蓄熱設備/材料費・工事費併せて1/3以内または4.5万円/台 いずれか低い方	補助対象費用の1/2以内
補助金額(上限金額)	1住戸当たり 120万円 ^{※1} 1住戸当たり 15万円	1住戸当たり 200万円 ^{※2} 1住戸当たり 125万円 ^{※2}

補助金交付の対象となる材料費や工事費の詳細については、SIIホームページなどから公募要領をご確認ください。

※1 家庭用蓄電池と家庭用蓄熱設備は、高性能建材の補助金額とは別枠補助 ※2 下限金額:1住戸当たり40万円以上であること